

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	武蔵野大学
設置者名	学校法人武蔵野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
文学部	日本文学文化学科	夜・通信	8	0	6	14	13		
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	夜・通信		0		8	16	13	
	日本語コミュニケーション学科	夜・通信				6	14	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信				8	16	13	
法学部	法律学科	夜・通信		0		8	16	13	
	政治学科	夜・通信				6	14	13	
経済学部	経済学科	夜・通信		0		8	16	13	
	経営学科	夜・通信				6	14	13	
	会計ガバナンス学科	夜・通信				6	14	13	
経営学部	経営学科	夜・通信		0		6	14	13	
	会計ガバナンス学科	夜・通信				6	14	13	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	夜・通信		0	6	14	13		
人間科学部	人間科学科	夜・通信		0		6	14	13	
	社会福祉学科	夜・通信				8	16	13	

工学部	環境システム学科	夜・通信	8	0	6	14	13	
	数理工学科	夜・通信			6	14	13	
	建築デザイン学科	夜・通信			8	16	13	
教育学部	教育学科	夜・通信	0	0	6	14	13	
	幼児教育学科	夜・通信			5	13	13	
薬学部	薬学科	夜・通信	4	0	15	19	19	
看護学部	看護学科	夜・通信			0	11	15	13
通信教育部 (人間科学部)	人間科学科	夜・通信	0	8	146	154	13	
通信教育部 (教育学部)	教育学科	夜・通信	0	8	21	29	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学ホームページで公表している。          &lt;通学制&gt;  <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a>          &lt;通信制&gt;  <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/syllabus">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/syllabus</a></p>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武蔵野大学
設置者名	学校法人武蔵野大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/musashino-u/executive.html">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/musashino-u/executive.html</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人理事長	2018. 10. 1 ～ 2021. 9. 30	組織運営体制 チェック機能
非常勤	弁護士	2020. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	コンプライアンス のチェック
(備考) 学外者は上記の他に6名、合計8名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武蔵野大学
設置者名	学校法人武蔵野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>&lt;通学制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シラバスに、授業科目の実施方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、予習と復習の具体的な内容、授業計画、教科書、ICTの活用状況、実務経験のある教員等による授業科目などについて記載している。</li> <li>また、シラバス作成要領をシラバス執筆教員に事前配付している。</li> <li>シラバスはインターネット上に公開をしている。</li> </ul> <p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての授業科目において、授業科目の授業方法、到達目標、テキストの概要、授業計画、成績評価の方法を具体的に記載している。シラバス執筆教員へは上記必要事項を記載するよう案内し、教学システムを用いて漏れのないよう管理・整備している。</li> <li>シラバスは前年度中に作成し、インターネット上に公表をしている。</li> </ul>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>&lt;通学制&gt;</p> <p><a href="https://muscat.musashino-u.ac.jp/portal/slbssrch.do?clearAccessData=true&amp;contentnam=slbssrch&amp;kjnmnNo=10">https://muscat.musashino-u.ac.jp/portal/slbssrch.do?clearAccessData=true&amp;contentnam=slbssrch&amp;kjnmnNo=10</a></p> <p>&lt;通信制&gt;</p> <p><a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/syllabus">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/syllabus</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>&lt;通学制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学修成果の評価方法は、主に「小テスト」「筆記試験」「レポート」の学修成果を元に判定する。その他の評価方法として「授業内で発表した内容(プレゼン)」等も評価に含まれる場合がある。</li> <li>学修成果の評価基準は、学修成果に基づき「S-X」の範囲で設定されている。</li> <li>なお、評価の基準については、本学のHPにて公開されている。</li> <li>単位の付与、履修の認定に関しては、事前に学生に提示しかつ大学HPにて公開しているとおり、全てシラバスに記載された基準・方法にて厳格かつ適切に運用されている。</li> </ul> <p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学修成果の評価方法は、主に「単位認定試験」の実施により判定する。</li> <li>学修成果の評価基準は学修成果に基づき「S~X」の範囲で設定されている。</li> <li>なお、評価方法及び評価基準については、本学のHPにて公開されている。</li> <li>単位の授与、履修の認定に関しては、事前に学生に提示しかつ大学HPにて公開しているとおり、あらかじめ設定した基準・方法にて厳格かつ適切に運用されている。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>&lt;通学制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA算出方法  <math display="block">GPA = \left[ \frac{\text{科目単位数} \times \text{成績ポイント (S=4, A=3, B=2, C=1, D=0, X=0)}}{\text{総履修単位数 [履修単位数の合計]}} \right]</math> ※小数点第3位以下切り捨て</li> <li>・GPAの算定方法は、大学HPにて公開済み。</li> <li>・成績分布については、資料を作成し内容を把握。また、作成した資料を使い進級の基準や卒業の要件に抵触している学生を抽出し学科長に共有。対象学生とアドバイザーの教員で面談を行い、学修指導を行う体制は整っている。</li> </ul> <p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修の到達度を評価するためにGPA制度を導入している。GPAは、履修した科目の評価(S~X)を成績ポイントに置き換えて学習到達度を客観的に評価し、学習指導等に活用している。</li> <li>・GPA算出方法  <math display="block">GPA = \left[ \frac{\text{科目単位数} \times \text{成績ポイント (S=4, A=3, B=2, C=1, D=0, X=0)}}{\text{総履修単位数 [履修単位数の合計]}} \right]</math> ※小数点第3位以下切り捨て</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>&lt;通学制&gt;  <a href="https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/8-grade-faculty/">https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/8-grade-faculty/</a></p> <p>&lt;通信制&gt;  <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/grade">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/grade</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>&lt;通学制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学ディプロマ・ポリシーとして【「アクティブな知」を獲得し、創造的に思考・表現する力を備えて、世界の課題に立ち向かう】を策定し、インターネット上で公開している。</li> <li>また、学部および学科ごとにもディプロマ・ポリシーを策定し、インターネット上で公開している。</li> <li>・卒業の要件と卒業判定の手順を策定しインターネット上で公開をしている。</li> </ul> <p>&lt;通信制&gt;</p> <p>学部ごとに学位授与の方針(ディプロマポリシー)を策定し公表している。卒業要件は学科・専攻・専修および入学区分(1年次入学/3年次編入学/4年次編入学)により異なるため、各専攻・専修ページで公表している。要件を満たした者には、学長が通信教育部委員会の意見を聴き、学長が卒業を認定し、学位を授与している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>&lt;通学制&gt;  <a href="https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/10-graduation-requirements-faculty/">https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/10-graduation-requirements-faculty/</a></p> <p>&lt;通信制&gt;  <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	武蔵野大学
設置者名	学校法人武蔵野大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a> 学校法人武蔵野大学総合案内パンフレット (ホームページに公開)
財産目録	ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a>
事業報告書	ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a>
監事による監査報告(書)	ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/inspection.html">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/inspection.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/accredited.html">https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/accredited.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
（概要） 仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
（概要） 文学部では、所定の卒業要件を満たし、かつ、社会人として必要な教養及び日本の言語・文学・文化についての専門的知識を身につけ、社会的に活用する力を獲得した者に学士（文学）の学位を授与する
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
（概要） 文学部では、社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS（共通科目）」と各自の専門を深めるための「学科科目」及び「資格科目」によって教育課程を編成する。更に学科科目は、自主的な勉学態度を養うことができるよう、2つのジャンルを設置し、学生各自の興味・関心、能力・将来に応じたジャンル選択が可能なカリキュラムとする。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
（概要） 文学にゆかりの深い武蔵野の地で、文献講読と学外学修の双方から文学を総合的に学び、豊かな感性と構想力を育み、読解力、表現力、創造力、批評力を養う。入学者には、以下のような能力・意欲を有することを求める。 ・文学、文化、言語、芸術などを幅広く学び、価値観や考え方の違いを受け入れ、高度情報化・グローバル化の時代に自らの場所を見つけて活躍したいと願う人 ・本学の伝統を理解し、高い目標を掲げ、希望と夢を持って人生を着実に美しく歩んでいきたいと願う人 ・読書と思索と表現を通して、世界を豊かに想像・創造するクリエイティビティを身につけたいと願う人

学部等名 グローバル学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、複数の言語を駆使し、多様な学生や多文化との関わりの中で、広い視野をもってグローバルな視点から問題発見・課題解決ができる人材の育成を目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>文学部では、所定の卒業要件を満たし、かつ、社会人として必要な教養及び日本の言語・文学・文化についての専門的知識を身につけ、社会的に活用する力を獲得した者に学士（文学）の学位を授与する。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>グローバル学部では、社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS（共通科目）」と、人文科学・社会科学諸分野の基礎的な知識を習得するとともにグローバル社会の課題を認識し、その解決策を提案できる能力を養成するための「学科科目」によって教育課程を編成する。また、専門教育は少人数の授業や学生が主体的にかかわるプロジェクト型の授業を中心に展開する。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部は、日本人学生と留学生が共に学ぶ環境の中で、英語、中国語、日本語の語学力とグローバルな思考を身につけ、世界を舞台に将来活躍できる人材を育成する。よって、以下のような者の入学を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル社会で活躍する高い意欲を有する者</li> <li>・異文化コミュニケーションと異文化理解に強い関心を有する者</li> <li>・3か国語の語学力を生かして実社会の課題解決に取り組む意欲を有する者</li> <li>・グローバル化が進むビジネスの世界で自身の能力を発揮したいと志す者</li> <li>・日本の魅力を世界に発信する意欲を有する者</li> </ul>



学部等名 法学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、法律学又は政治学の専門的な知識を養い、普遍的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>法学部では、建学の精神を身につけ、法律学と政治学に関し、学士課程教育の水準を達成した学生に学位を授与する。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>武蔵野大学法学部は、「新世代法学部」を標榜し、学生個々人が、社会の中の一員として、周囲の人々の利益を意識しつつ自らの幸福を実現することを目標とし、「共生」の精神のもとに社会のリーダーとしてルール作りをしていける人材の育成を目指す。すなわち、個人の幸福追求と公共領域の確立とを両立させることのできる人材育成を行うことをカリキュラム編成の基本方針とする。全学での4学期制の採用に伴い、新しいカリキュラム・ポリシーを採用し、法律学科では法の系統樹に沿って民事基本法から集中的に学ぶ合理的かつ効率的な学びの仕組みを採用し、政治学科では4学期制のメリットを最大限に生かして留学や学外活動等を容易にしたカリキュラムで国際人の養成を目指す。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部は、法律学、政治学の専門知識を活用して、企業、地域、地方公共団体、国、世界、というあらゆる段階の「自己の属する集団」において、最適なルールを創り、その集団のリーダーとなって、構成員を幸福にしていける人材を育成しようとする、「新世代法学部」である。多様な価値観を受け入れ、豊かな想像力をはぐくみ、これからの地球社会の持続可能性等、さまざまな問題に柔軟に対処して、人々と共に幸福を追求しようとする人を求める。したがって、入学者に求めるのは、人々の価値観の相対性などを理解できる、精神的な成熟度の高さである。さらに、グローバル化の時代に即した能力として、高校時代になるべく英語力をつけてきてほしいと考え、筆記試験型の入試では2017年度から英語力の比重を高めた評価を実施している。</p>

学部等名 経済学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a>）</p> <p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、経済学の専門的な知識を養い、普遍的・科学的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a>）</p> <p>（概要）</p> <p>経済学部では共生の視点に立脚しながら、学科科目を中心に修得した普遍的・科学的方法によって現代社会の課題を発見し、解決できる能力を身に付け、かつ所定の卒業要件を満たした者に学士（経済学）の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a>）</p> <p>（概要）</p> <p>経済学部では建学の仏教精神を土台にし、外国語の習得や、社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS」を中心とした「共通科目」と、経済学を中心とする社会科学の普遍的方法を身につけ、専門人としての知見を深めるための「学科科目」によって教育課程を編成する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a>）</p> <p>（概要）</p> <p>経済学部では建学の理念である仏教精神を基盤に、経済学に関する専門的な知識を修得し、グローバルな視点で現代社会・経済における課題を発見し、その分析・判断および解決に向けた論理的思考力を養う。したがって、入学者には現代社会・経済についての広い問題関心と、普遍的・科学的なものの見方が求められる。</p>

学部等名 経営学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>経営学部では、経営学科ならびに会計ガバナンス学科が定める卒業要件を満たし、高い倫理観と共生の視点を身につけ、経営学と会計学における専門知識と技能をもとに多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を習得した者に学位を授与する。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS（共通科目）」と、経営学科ならびに会計ガバナンス学科がそれぞれ特色ある知識と技能を修得するために展開する「学科科目」によって教育課程を編成する。現代社会の発展の礎にある普遍的・科学的な思考法や研究方法に基づく合理的な思考と、高い倫理観と共生の視点を持って、世界が抱える課題の発見・解決に貢献できる人材の育成を目的とする。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部では、仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。</p>

学部等名 人間科学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を、心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる人材の育成を目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>人間科学部では、以下の要件を満たし、各学科所定の単位を修得した者に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学的、論理的な思考能力と人間に関する多面的、専門的な知識を身につけていること。</li> <li>2. 人間が直面する歴史的、社会的諸課題を分析し、主体的、実践的に解決できる力を身につけていること。</li> <li>3. 真の人間尊重の立場にたち、これらの知識と能力を社会のために活用できる総合的な人間力を身につけていること。</li> </ol>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>「武蔵野 BASIS」（全学共通基礎課程）において学部の専門教育に必要な基礎力を修得するために必要な科目を配置するとともに、専門教育においては、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる力を身につけるために必要な専門科目を年次進行にそって段階的・体系的に配置することを教育課程編成の基本方針とする。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部は、人間科学、社会福祉学等の学びを通して、人間尊重の立場から、社会の諸課題を分析し、解決して行けるような総合的な人間力を備えた人材を育成する。それぞれの学科によって、大学教育における目標、入学者に求める能力は異なるが、ここでは学部に通ずる求める能力について挙げる。人間科学部が求める者は以下のような能力、意欲を持つ者である。</p> <p>人間の心理、生命、社会、福祉に関心を持ち、多面的に学びたいという意欲を持った者。</p> <p>基礎となる教養に幅広く触れようとする姿勢を有しており、基本的な学力を持つ者。</p> <p>情報を自ら蒐集しようとする姿勢を持つ者。</p> <p>他者の考えを聞き、自らの考えを述べ、文章に表すことの出来る者。</p>

学部等名 データサイエンス学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、データ、メディアコンテンツ及びそれらの分析・統合による「知の創造」を対象とする新しい学術を志向し、多くの応用の発展を実現できる人材を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>データサイエンス学部では、以下の要件を満たし、所定の卒業要件を満たした者に学士（データサイエンス学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を身につけていること。</li> <li>2. データ、メディアコンテンツ及びそれらの分析・統合による「知の創造」を対象とする実践知を持続的に学習する能力を身につけていること。</li> <li>3. データサイエンスの学術的な知識やスキルを活用し、多様な社会的応用を具現化できる能力を身につけていること。</li> </ol>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>人工知能（機械学習）の可能性を取り込んだ最先端のデータサイエンス学を構築し、その理念に基づいたカリキュラムを用意している。</p> <p>その教育カリキュラムの基本構図は以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「テーマを選ぶ」</li> </ol> <p>広く実世界の 이슈を直接知る機会を提供することにより自分の問題意識を育成し、学部での学習テーマを選ぶことを支援する科目群を提供すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 「知識とスキルを学ぶ」</li> </ol> <p>データ（工学）と人工知能（工学）を二本柱とした多様な知識とスキル（ツール）を実践的かつ反復的に学習する科目群を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 「価値創出を実践する」</li> </ol> <p>自分の選んだ、実世界 이슈を、学んだスキルと知識を活用して、社会的な価値を創るプロジェクト型学習の科目群を1年次から提供し、社会実装を経験する。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部では、現実社会の広範な領域や分野における多様な課題を発見し、データ分析・統合と知の創造により新たな創造的活動を先導する人材を育成する。</p>

学部等名 工学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、専門的な知識を養い、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決のできる人材を養成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>工学部では、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決するために必要な専門知識、意欲、スキルを身につけ、かつ、所定の卒業要件を満たした者に学位を授与する。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>工学部では、社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS（共通科目）」と、「持続可能な社会」構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決できる人材の育成に必要な「学科科目」によって教育課程を編成する。また「学科科目」では、学生主体のチームによりテーマ設定・企画立案・運営・検証 までを行う学年縦断のプロジェクト科目を配置する。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
<p>（概要）</p> <p>本学部は、希望が持てる未来を築くために、持続可能な社会に求められる、環境システム、数理工学、建築デザインの知識と技術を身に付け、工学的アプローチから課題解決ができる人材を育成する。したがって、選択する学科に対する明確な志望動機に加えて、自身を超えた困難な課題に果敢に挑戦する勇気と、諦めずに創意工夫し続ける粘り強さを持った者を求める。</p>

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a> ）
（概要） 仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、幅広い視野を持って教育及び教育支援に携わることのできる人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a> ）
（概要） 教育学部では、学識・情操・品性に優れた人格、教育に対する幅広い視野、そして保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭にふさわしい汎用的能力を身につけた学生に学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a> ）
（概要） 教育学部では、社会人として必要な教養や知識を身につけるための「武蔵野 BASIS（共通科目）」と保育ならびに教育の本質を学び研究する理論科目と保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭のための実践科目とでカリキュラムを構成している。また、保育・教育実践を複数単位化し、数多くの実践経験を踏まえて現場に立つことを目指している。これらのカリキュラムを履修することで、保育・教育にふさわしい汎用的能力を身につけることを目指している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a> ）
（概要） 本学部は、子供の成長・発達の過程を深く理解し、子供や保護者と円滑にコミュニケーションがとれる保育・教育の専門家を育成する。子供の成長や発達を長いスパンでとらえ、保育・教育の過程を全体的、多角的に理解していく意欲を持った者を求める。

学部等名 薬学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a>）</p> <p>（概要）          仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、慈悲の心を持ち、多様な薬学関連分野で人々に貢献できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a>）</p> <p>（概要）          本学科は基本的な薬学知識に加え、医療人としてより高度な専門知識と実践力、さらには高い倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的とする。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる8つの能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a>）</p> <p>（概要）          医療の一翼を担う人材として、確かな知識・技術と高い倫理観をもつ薬剤師を育成するために、カリキュラム体系を、「武蔵野 BASIS」（共通科目）と学科科目に区分し、学科科目は「薬学教育モデル・コアカリキュラム」を基本として編成する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a>）</p> <p>（概要）          本学部は、教養教育から基礎薬学教育、医療薬学教育へと系統的な教育を行うことで、医療人としての高い倫理観と高度な専門知識を兼ね備えた実践力のある薬剤師を育成することを目的としている。わが国の医療の一翼を担う人材として、薬学の知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、人間性豊かで高い志を持ち、広く社会に貢献しようという意欲を持った者を求める。</p>



学部等名 看護学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html</a>）</p> <p>（概要）          仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人の「生老病死」と看護は密接に関係することを認識し、人々の健康および福祉の向上に貢献できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html</a>）</p> <p>（概要）          看護学部では、仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれ、人の「生老病死」に関係することを認識し、人々の健康及び福祉の向上に貢献でき、かつ、所定の要件を満たす者に学士（看護学）の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html">https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html</a>）</p> <p>（概要）          看護学部では、仏教精神を基盤とした人間性豊かな専門職の育成を目的として、教養教育及び看護学の専門教育を体系化したカリキュラムを編成する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公開 <a href="https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html">https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html</a>）</p> <p>（概要）          本学部は、「慈悲の心」を持ちながら、人の生老病死に寄り添い、痛みや苦しみ、喜びや楽しみをともに分かち合える豊かな人間性と倫理観、そして確かな専門知識・技術に裏打ちされた実践力を兼ね備えた看護師を育成する。看護専門職に必要な基礎的能力を身につけ、社会のさまざまな領域で人々の健康及び福祉の向上に貢献できる看護実践者及び将来の看護指導者を目指す者を求める。</p>

学部等名 通信教育部人間科学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline</a>)</p> <p>(概要) 通信教育部人間科学部人間科学科は、現代社会や現代人が抱える心の問題を心理学、仏教学又は社会福祉学の側面から考え、人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a>)</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学、仏教学、社会福祉学の専門的知識を身につけていること。</li> <li>2. 現代社会や現代人が抱える心の問題を心理学、仏教学、社会福祉学の側面から考える能力を身につけていること。</li> <li>3. 人間の心の本質を探究し、総合的視野で深く人間を理解できること。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a>)</p> <p>(概要) 人間科学部の教育課程は、一般教養を学ぶ共通科目と専門科目を学ぶ学科科目から編成されている。 共通科目は、建学の精神を培う「建学科目(必修)」、テーマに沿って学び、思考力や表現力などの能動的な能力、問題発見・解決能力を伸ばす「セルフディベロップメント科目」、外国語と体育に関する「コミュニケーション科目」「健康体育科目」を体系的に履修させ、国際化や体力が脆弱化した現代社会に対応できる能力を身につけさせる。 学科科目は、それぞれの専攻において、必修の基礎科目と選択科目によって編成されている。基礎科目は、主に1年次と2年次に配当され、応用・実践力を身につけさせる選択科目との連携を図っている。選択科目は科目群にまとめられ、心理学専攻では「産業心理科目群」「臨床心理科目群」「学校心理科目群」「看護心理科目群」「社会福祉科目群」「児童教育科目群」、仏教学専攻では「仏教基礎科目群」「浄土教科科目群」「仏教思想科目群」「仏教文化科目群」、社会福祉専攻では「社会福祉系科目」「演習・実習系科目」にまとめられ、それぞれの分野における専門的知識と応用・実践力を体系的に理解する能力を身につけさせる。 これらの科目を履修することによって、心理学専攻では認定心理士等の資格、社会福祉専攻では社会福祉士(受験資格)の資格を取得可能にする。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a>)</p> <p>(概要) 人間科学部は、学位授与方針に記した内容を理解し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持ち、達成能力があり、自主的に時間管理ができ、社会に貢献する意欲を持った学生を受け入れる。</p>

学部等名 通信教育部教育学部
教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline</a> )
(概要) 通信教育部教育学部教育学科は、児童生徒の成長・発達に関する知識を学習し、児童生徒を健やかに育むための技術と実践力を身につけ、教育とその支援活動を行える、高い人格と専門的な実践力・企画力をもった教育者の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a> )
(概要) 教育学部では、学識・情操・品性の優れた人格、教育に対する幅広い視野、そして小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭にふさわしい汎用的能力を身につけた学生に学位を授与する。 教育学科では、所定の 124 単位を修得し、以下の要件を備える者に学士（教育学）の学位を授与する。 1. 小学校教諭免許状又は中学校・高等学校教諭免許状の取得を前提として、自己の目指す資格・免許の取得に必要な知識と技術を身につけていること。 2. 児童期あるいは青年期の子どもの発達を特に深く理解するとともに、児童期から青年期までの子どもの発達全体の見通しを持つことができる者。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a> )
(概要) 教育学部では、学部の専門教育に必要な基礎力を修得するために共通科目を編成するとともに、専門教育においては、子どもを育み、教える立場に立つ者が備えるべき資質の育成並びに教員として実践力・即戦力を育成するためのカリキュラムを編成する。 教育学科では、共通科目を踏まえ、専門教育として学科の小学校専修、国語科専修、英語科専修の各専修に対応して、以下のようにカリキュラムを編成する。 1. 学科の共通科目では、建学の精神を培う「建学科目（必修）」、テーマに沿って学び、思考力や表現力などの能動的な能力、問題発見・解決能力を伸ばす「セルフディベロップメント科目」、外国語と体育に関する「コミュニケーション科目」「健康体育科目」を体系的に履修させ、国際化や体力が脆弱化した現代社会に対応できる能力を身につけさせる。 2. 小学校専修は、小学校教諭を養成する専修であり、児童期の心身の発達に関する科目と初等教育に関する科目を置く。 3. 国語科専修は、中学校教諭（国語）・高等学校教諭（国語・書道）を養成する専修であり、青年期の心身の発達に関する科目と中等教育に関する科目を置く。 4. 英語科専修は、中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）を養成する専修であり、青年期の心身の発達に関する科目と中等教育に関する科目を置く
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a> )
(概要) 子どもの発達を長いスパンでとらえ、教育と学習の過程を全体的、多面的に理解していく意欲を持った者を求める。 入学者の受け入れ方針として、以下のような能力・意欲を有する者を求める。 1. 初等教育から中等教育まで幅広い視野に立って多角的に教育現場を捉え、教育及び教育支援に携わることを目指す者。 2. 専門知識・技術はもちろんのこと、幅広い人間性やコミュニケーション能力、広い視野を持った教育のスペシャリストを目指す者。 3. 子どもがどのように育っていくのかを長いスパンで見通すことで、教育、教育支援の

対象を子どもだけではなく、保護者や地域の方々を対象と考えられることを目指す者。

入学者選考は、上記方針に基づいて、下記に挙げる点に留意して実施する。

1. 教育学科の教育方針に相応しい人材を多面的に審査・評価する。
2. 基礎学力と専門教育に関する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する。
3. 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/figure.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
文学部	—	10人	3人	2人	1人	0人	16人
グローバル学部	—	17人	5人	5人	1人	0人	28人
法学部	—	16人	6人	4人	0人	0人	26人
経済学部	—	8人	5人	1人	1人	0人	15人
経営学部	—	13人	8人	2人	1人	0人	24人
データサイエンス学部	—	5人	7人	1人	2人	1人	16人
人間科学部	—	16人	8人	1人	6人	—	31人
工学部	—	17人	6人	3人	3人	2人	31人
教育学部	—	19人	8人	7人	0人	0人	34人
薬学部	—	17人	1人	25人	12人	1人	56人
看護学部	—	9人	6人	9人	4人	7人	35人
通信教育部 (人間科学部)	—	3人	2人	1人	2人	0人	8人
通信教育部 (教育学部)	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		709人					709人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://cv01.ufinity.jp/musashino/">https://cv01.ufinity.jp/musashino/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>学長主導のもと全学FDSD研修会を企画し、令和元年度(平成31年度)は「各学科の授業改善に向けた Good Practice の共有～学修者本位の教育への転換に向けて～」 「MUSIC 教育研究検討小委員会 中間発表～AI-Ready-University を目指して～」 「トランジションに向けた学生の学びと成長－社会で活躍するために－」 「学祖高楠順次郎先生における「世界」－その生涯に見る海外とのつながり－」等のテーマで実施した。あわせて、各学科において教員同士の授業参観や、授業に関する事例発表、また研究科・学科単位でのFD活動も実施している。また、その他授業改善小委員会による、教授法のトライアル授業の募集・選定を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	220人	203人	92.3%	871人	797人	91.5%	5人	1人
グローバル学部	300人	279人	93.0%	1,215人	1,098人	90.3%	15人	10人
グローバル・コミュニケーション学部	0人	0人	%	0人	1人	%	0人	0人
法学部	290人	283人	97.6%	1,166人	1,078人	92.5%	6人	0人
経済学部	175人	170人	97.1%	1,168人	1,129人	96.7%	3人	1人
経営学部	310人	305人	98.4%	623人	605人	97.1%	3人	0人
データサイエンス学部	70人	70人	100%	140人	139人	99.3%	0人	0人
政治経済学部	0人	0人	%	0人	3人	%	0人	0人
人間科学部	372人	353人	94.9%	1,499人	1,378人	91.9%	6人	0人
工学部	200人	209人	104.5%	800人	771人	96.4%	0人	0人
環境学部	0人	0人	%	0人	1人	%	0人	0人
教育学部	220人	221人	100.5%	880人	857人	97.4%	0人	0人
薬学部	160人	139人	86.9%	915人	838人	91.6%	0人	0人
看護学部	145人	131人	90.3%	555人	505人	91.0%	0人	0人
通信教育部 (人間科学部)	250人	131人	52.4%	2,400人	2,698人	112.4%	700人	237人
通信教育部 (教育学部)	17人	5人	29.4%	238人	249人	104.6%	85人	56人
合計	2729人	2499人	91.6%	12470人	12147人	97.4%	823人	305人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	174人 (100%)	4人 (2.3%)	150人 (86.2%)	20人 (11.5%)
グローバル学部	254人 (100%)	11人 (4.3%)	185人 (72.8%)	58人 (22.8%)
グローバル・コミュニケーション学部	16人 (100%)	0人 (0.0%)	5人 (31.3%)	11人 (68.8%)
法学部	208人 (100%)	9人 (4.3%)	179人 (86.1%)	20人 (9.6%)
経済学部	296人 (100%)	5人 (1.7%)	255人 (86.1%)	36人 (12.2%)
経営学部	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
データサイエンス学部	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
政治経済学部	2人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)
人間科学部	315人 (100%)	20人 (6.3%)	278人 (88.3%)	17人 (5.4%)
工学部	187人 (100%)	22人 (11.8%)	154人 (82.4%)	11人 (5.9%)
環境学部	2人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)
教育学部	207人 (100%)	1人 (0.5%)	192人 (92.8%)	14人 (6.8%)
薬学部	138人 (100%)	1人 (0.7%)	134人 (97.1%)	3人 (2.2%)
看護学部	99人 (100%)	3人 (3.0%)	96人 (97.0%)	0人 (0.0%)
合計	1898人 (100%)	76人 (4.0%)	1630人 (85.9%)	192人 (10.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>&lt;通学制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスに、授業科目の授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、予習と復習の具体的な内容、授業計画、教科書などについて記載している。</li> <li>・シラバスはインターネット上に公開をしている。</li> </ul> <p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信教育部の授業科目、学習方法及び内容は、シラバス及び各専攻・専修ページで公表している。授業は、定期試験等を含め、4月15日から2月11までの間に適切に行う。</li> </ul>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修成果の評価基準は学修成果に基づき「S~X」の範囲で設定されている。</li> <li>・なお、評価の基準については、本学のHPにて公開されている。</li> </ul> <p>【通学制】</p> <p>&lt;進級の基準&gt;</p> <p><a href="https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/9-promotion-faculty/">https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/9-promotion-faculty/</a></p> <p>&lt;卒業の要件&gt;</p> <p><a href="https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/10-graduation-requirements-faculty/">https://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/faculty/guide/10-graduation-requirements-faculty/</a></p> <p>【通信制】</p> <p><a href="http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy">http://www.mu-tsushin.jp/university/outline/policy</a></p>
---

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	日本文学文化学科	124 単位	有	160 単位
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	124 単位	有	160 単位
	日本語コミュニケーション学科	124 単位	有	160 単位
	グローバルビジネス学科	124 単位	有	160 単位
法学部	法律学科	124 単位	有	160 単位
	政治学科	124 単位	有	160 単位
経済学部	経済学科	124 単位	有	160 単位
	経営学科	124 単位	有	160 単位
	会計ガバナンス学科	124 単位	有	160 単位
経営学部	経営学科	124 単位	有	160 単位
	会計ガバナンス学科	124 単位	有	160 単位
データサイエンス学部	データサイエンス学科	124 単位	有	160 単位
人間科学部	人間科学科	124 単位	有	160 単位
	社会福祉学科	124 単位	有	160 単位



工学部	環境システム学科	124 単位	有	160 単位
	数理工学科	124 単位	有	160 単位
	建築デザイン学科	124 単位	有	160 単位
教育学部	教育学科	124 単位	有	194 単位
	児童教育学科	124 単位	有	167 単位
薬学部	薬学科	235 単位	有	306 単位
看護学部	看護学科	124 単位	有	200 単位
通信教育部 (人間科学部)	人間科学科	124 単位	有・無	単位
通信教育部 (教育学部)	教育学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: 大学ホームページにて公表 (<https://www.musashino-u.ac.jp/access.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	学年	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	日本文学 文化学科	1	770,000 円	180,000 円	179,140 円	(教育充実費等)
		2	770,000 円	0 円	279,140 円	(教育充実費等)
		3	700,000 円	0 円	263,140 円	(教育充実費等)
		4	700,000 円	0 円	262,000 円	(教育充実費等)
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科	1	770,000 円	180,000 円	251,140 円	(教育充実費等)
		2	770,000 円	0 円	351,140 円	(教育充実費等)
		3	700,000 円	0 円	329,140 円	(教育充実費等)
		4	700,000 円	0 円	262,000 円	(教育充実費等)
法学部	法律学科 政治学科	1	770,000 円	180,000 円	179,140 円	(教育充実費等)
		2	770,000 円	0 円	279,140 円	(教育充実費等)
		3	700,000 円	0 円	263,140 円	(教育充実費等)
		4	700,000 円	0 円	262,000 円	(教育充実費等)
経済学部	経済学科	1	770,000 円	180,000 円	179,140 円	(教育充実費等)
		2	770,000 円	0 円	279,140 円	(教育充実費等)
		3	700,000 円	0 円	263,140 円	(教育充実費等)
		4	700,000 円	0 円	262,000 円	(教育充実費等)
	経営学科	3	700,000 円	0 円	263,140 円	(教育充実費等)
		4	700,000 円	0 円	262,000 円	(教育充実費等)
会計ガバナンス学科	3	700,000 円	0 円	263,140 円	(教育充実費等)	
経営学部	経営学科 会計ガバナンス学科	1	770,000 円	180,000 円	179,140 円	(教育充実費等)
		2	770,000 円	0 円	279,140 円	(教育充実費等)
データサイエンス学部	データサイエンス学科	1	970,000 円	180,000 円	261,140 円	(教育充実費等)
		2	970,000 円	0 円	361,140 円	(教育充実費等)

人間科学部	人間科学科	1	770,000円	180,000円	179,140円	(教育充実費等)
		2	770,000円	0円	279,140円	(教育充実費等)
		3	700,000円	0円	273,140円	(教育充実費等)
		4	700,000円	0円	272,000円	(教育充実費等)
	社会福祉学科	1	770,000円	180,000円	179,140円	(教育充実費等)
		2	770,000円	0円	279,140円	(教育充実費等)
		3	700,000円	0円	253,140円	(教育充実費等)
		4	700,000円	0円	252,000円	(教育充実費等)
工学部	環境システム学科 数理工学科	1	950,000円	180,000円	276,140円	(教育充実費等)
		2	900,000円	0円	276,140円	(教育充実費等)
		3	900,000円	0円	251,140円	(教育充実費等)
		4	900,000円	0円	250,000円	(教育充実費等)
	建築デザイン学科	1	990,000円	180,000円	341,400円	(教育充実費等)
		2	990,000円	0円	381,140円	(教育充実費等)
		3	900,000円	0円	401,140円	(教育充実費等)
		4	900,000円	0円	400,000円	(教育充実費等)
教育学部	教育学科	1	820,000円	180,000円	223,140円	(教育充実費等)
		2	770,000円	0円	313,140円	(教育充実費等)
		3	700,000円	0円	293,140円	(教育充実費等)
		4	700,000円	0円	292,000円	(教育充実費等)
	幼児教育学科	1	820,000円	180,000円	223,140円	(教育充実費等)
		2	770,000円	0円	313,140円	(教育充実費等)
		3	700,000円	0円	293,140円	(教育充実費等)
薬学部	薬学科	1	1,400,000円	180,000円	401,160円	(教育充実費等)
		2	1,400,000円	0円	496,160円	(教育充実費等)
		3	1,300,000円	0円	497,160円	(教育充実費等)
		4	1,300,000円	0円	500,000円	(教育充実費等)
		5	1,300,000円	0円	560,000円	(教育充実費等)
		6	1,300,000円	0円	500,000円	(教育充実費等)
看護学部	看護学科	1	1,170,000円	180,000円	414,500円	(教育充実費等)
		2	1,170,000円	0円	554,500円	(教育充実費等)
		3	1,170,000円	0円	554,500円	(教育充実費等)
		4	1,170,000円	0円	554,500円	(教育充実費等)
通信教育部	人間科学部 教育学部	1	160,000円	30,000円	10,000円	(教育充実費等)
		2	160,000円	0円	10,000円	(教育充実費等)
		3	130,000円	0円	10,000円	(教育充実費等)
		4	130,000円	0円	10,000円	(教育充実費等)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)          本学では、障害のある学生に対し、障害の内容・状況に応じてサポートを行っている。対象学生の履修科目担当教員には、具体的な配慮事項を明記した文書を配布し、協力を求めている。</p> <p>○通信制学部のサポート</p> <p>①学習・資格取得サポート          通信教育への導入サポート、学習相談員（メンター）によるサポート、学習計画モデルの案内、教員による学習相談会          [看護学コース] 学位取得サポート          [社会福祉専攻] 社会福祉実習サポート          [教育学部] 教員免許状の取得サポート</p> <p>②WEB サポート          WBT（通信教育システム）、学習相談員（チューター）による WEB サポート、WEB 辞典・電子教科書の提供、テーマ別のフォーラムを開設、メールマガジンでの定期的な学習情報提供</p> <p>③スクーリングサポート          メディア授業の充実、KIDS スクーリング（託児所の開設）、学割の利用</p> <p>④その他学習サポート          図書館の利用、地域懇談会の開催、「学生教育研究災害傷害保険」の加入</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)          就職支援ガイダンスを定期的実施している。また、OB・OG 訪問、公務員試験対策講座、キャリア・アドバイザー個別相談、業界・企業研究など様々なプログラムを多数実施している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)          健康管理センター（大学保健室及び学生相談室を設置）にて、健康診断や健康相談、精神保健に関すること、応急処置、感染症予防等を行っている。          大学保健室は、応急処置等のほか、学生の健康診断を年 1 回実施し、希望の学生には健康相談も実施している。          学生相談室は、学生が有意義な学生生活を送れるよう支援することを目的としている。常駐の相談員（カウンセラー）が学生一人ひとりの悩みや問題をともに考え、学生自ら問題解決を見出せるよう援助している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：<https://cv01.ufinity.jp/musashino/>